

選挙カフェレポート



折尾地区の学生が、北九州について本音で語りました。

参加者

● 大学生 9人

● 短大生 4人

● 高校生 7人

計 20人

参加理由は？

- いろいろな人に政治に関心を持ってほしいから
- 投票率が低い！もったいない！
- もともと政治に関心があったから
- 若者の声を聞いてほしいと思ったから
- 自分より若いみんなの意見を聞いてみたいと思ったから
- 自分たちのことは自分たちで考える方が良いと思ったから
- 今はまだ興味がないけどそれを変えたくて
- 選挙について楽しく知って周りに広げていければ良いと感じたから
- いろいろな人と会って、いろいろな意見が聞きたいから

最近気になっている北九州市のこと

良いと感じていること
期待していること

- 公園がいつもきれい
- 地域の人が温かい
- 程よく都会で住みやすい
- 旦過の新しい商業施設が気になる
- 給食を含め「食」に力が入っている
- 美味しいものが多いと思う
- 折尾駅がきれい、かしわ飯の立ち売り
- 子供も楽しめるイベントが多い
- 「歴史や文化、着物のまち」としてPRしていくのも良いと思う

不安や心配事
改善してほしいこと

- 折尾駅周辺の交通の便が悪い
- 折尾駅周辺の工事が長い
- 折尾駅のロータリーが混む
- 治安が悪い（暴走族、キャッチ）
- 市有地から伸びている植物を撤去してほしい
- 若者世代が遊べる場所が欲しい
- 大学生が集える場がもっとほしい
- 常盤橋が解体されて人通りが減っている
- 北九州市の情報がどこで発信されているか分からない

なぜ、若者の投票率が低いのか??



知識・関心の不足

- 選挙が何かも分かっていない
- 選挙があっていることも知らない友人がいる
- 選挙が自分の生活と繋がっていない人が多い
- 多くの若者は政治や選挙が自分事だと思えていない
- 国会議員、県知事、市長、市議会議員など、それぞれ何をする人かも分からないし、その選挙が何を決める選挙かもわかってない人が多い気がする
- どのように考えて投票すれば良いのか、投票の仕方など、分からないことが多い



物理的・環境的ハードル

- 大学生は大学内で投票できれば良い。投票所に行くのは面倒
- 若者が投票に行きやすいところに投票所がないのでは
- 若者世代は勉強や仕事で忙しいため、行くことができないのではないかと



心理的ハードル

- 年齢と共に増す『社会的責任』の実感が、若者にはまだ不足しているのでは
- 北九州市に限らず、SNSでは議員に関する悪いニュースばかりが流れてくる。良いイメージが持てないため参加意欲がなくなってしまう（居眠り、裏金問題など）
- 勝敗が予想できると、自分の一票が結果に影響しないと感じてしまう
- 自分一人が行かなくても影響はない気がする
- 投票できるようになっても「是非行きたい」とは、今は思えていない（高校生）

その他（アイデア・気づきなど）💡

- ★前回の市議選では、当選ラインが11票差！！
⇒1票で当落が変わることがある
- ★「一票で変わらない」と嘆くより、街への参加意思を示す場と捉える
⇒「変えよう」より「参加」から始める考え方はどうか
- ★キティちゃんの投票済証で若者の投票が体感的に増えた気がした
⇒SNSにアップしたくなる工夫が有効？

当日の様子 📷

